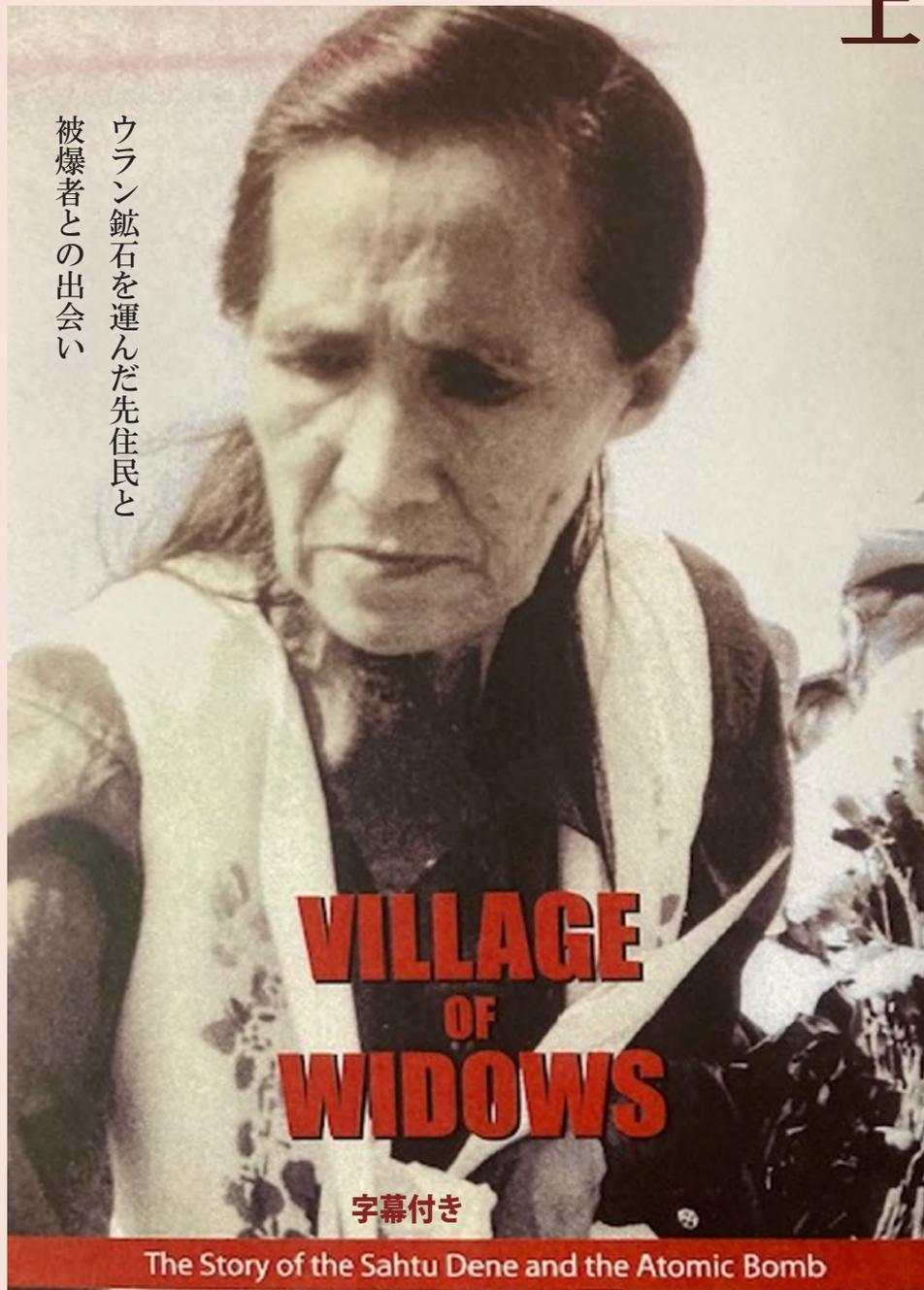


『寡婦たちの村』

上映会 & トーク



ウラン鉱石を運んだ先住民と
被爆者との出会い

2024年

2月4日(日)

14:00 ~ 16:00

広島市民交流プラザ

6F マルチメディアスタジオ

(広島市中区袋町)

無料

トーク

松永京子さん

(広島大学大学院人間社会科学研究所)

ほか

1999年にカナダで上映された「寡婦たちの村」は、先住民族サーツ・デネとカナダ北西準州のウラン鉱山の歴史に光を当てたドキュメンタリー映画です。

ピーター・ブロー監督から話を聞かれた松永京子さんに作品の背景や現在の状況についてお話をしていただき、1998年8月、デネの人々の広島訪問をサポートしたメンバーが当時を語ります。

今、私たちに何ができるのか一緒に考えてみませんか。

Photo by Robert Del Tredici

広島と長崎に投下された原爆の製造に使用されたウラン鉱石は、カナダ北西部で採掘され、その後、放射線の危険性について全く知らされていない先住民労働者サーツ・デネ人たちによって運搬されました。長年にわたり、このコミュニティはがんで多くの男性を失い、「寡婦たちの村」として知られるようになりました。1999年、映画監督ピーター・ブローは、原爆に使用されたウラン鉱石の採掘と運搬によって、サーツ・デネの人々がどのような影響を受けたのかを調査した約1時間のドキュメンタリー『寡婦たちの村』を制作しました。



ピーター・ブロー監督

主催：韓国の原爆被害者を救援する市民の会・広島支部、グローバリゼーションを問う広島ネットワーク、第九条の会ヒロシマ、特定非営利活動法人ワールド・フレンドシップ・センター
連絡先：090-1683-6161 k.toyonaga@hi3.enjoy.ne.jp (豊永) お申し込みは不要